

オリ・パラ教育 スポーツプロジェクト



運動会では、様々な競技にオリ・パラに関連付けて実施。また、東京2020組織委員会主催の「みんなのスポーツフェスティバル」（オリ・パラに関連づけた運動会のコンテスト）では、全国80校125件のうち、10校しか選ばれない優秀賞を獲得。



2000年シドニー五輪レスリング銀メダリストで地元東金市出身の永田克彦さんをお呼びして、体験交流会を実施。



千葉県開催競技のレスリングについて体験を通して学習した。



地域の小学校、中学校に障害者スポーツ等を広める目的として、「オリ・パラ」キャラバンを実施。

今年度は横芝光町の小・中学校に訪問し、ボッチャを中心に魅力やルール等を体験、交流を通して伝えた。



8月に地域の方を対象にパラスポーツ体験会「オリ・パラ」

サマーセッションを実施。小中高生や特別支援学校生、留学生等障害の有無、国の違いを超え様々な方が集まり交流を図る。



オリ・パラ教育 心のバリアフリープロジェクト

毎月、「オリ・パラ」給食として世界の料理が献立に組まれている。食を通して諸外国の文化に触れる機会となっている。



寄宿舎では、日本の伝統文化（七夕）について触れている。



One Team Togane ワンチーム東金 47th SINCS 1973

自分で自分たちの命を守るためにできることを、地域とのつながりを大切にしながら探るようにしている。防災の意識を継続・日常化できるように楽しく無理なく活動ができるようにしている。



あたりまえ防災隊の活動により、先輩達から引き継いだものを次の代に伝えていこうと思う生徒が出てきている。そのため、毎年3月に、卒業する学年から次の学年に、「防災意識の引き継ぎ」を生徒達同士で行う姿が見られている。

継続・日常化をめざす 防災教育

オリ・パラ教育 おもてなしプロジェクト

フィリピンの特別支援学校来校や近隣の大学の留学生との交流を控え、元ANA客室乗務員を講師に「外国人へのおもてなし講座」を実施。日本人の当たり前が外国人へは伝わらないことなど、新しい気づきにつながった。



高等部の作業学習（園芸班）が東金警察署と一緒に交通安全キャンペーンを実施。運転者に交通安全を願い、作業学習で育てた花苗を渡している。



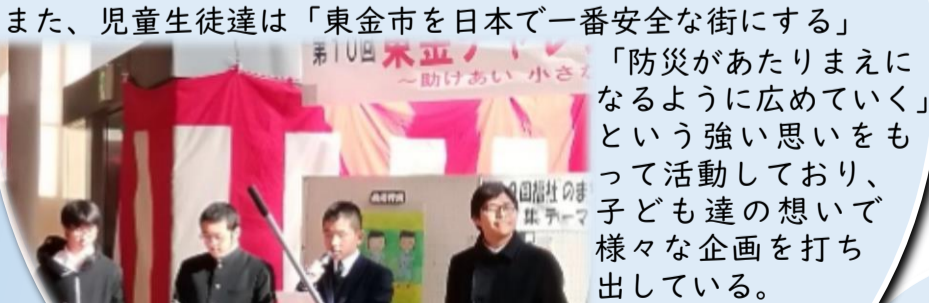
「防災について楽しく学ぶ」をコンセプトに、本校オリジナルの防災ソングである「あたりまえ防災Ⅱ～ぼくらの合い言葉～」を完成させた。地域の防災行事を中心にCDの配布、踊りの発表などを繰り返し行うことで、地域の人にも知ってもらい、地域の防災意識を高める一助となった。また、「防災ウォークラリー」では、災害体験ブースだけでなく、地域の方と防災について一緒に考えるブースも設置した。



楽しく学ぶ 防災教育

自主性のある 防災教育

「あたりまえ防災隊」は、防災活動をやりたいと希望した者全員が参加して活動をしている。防災ウォークラリーの運営の他、避難訓練での避難時のルール・頭を守ることの大切さを教えるコーナーなどを担当し、主体的に防災活動に取り組んでいる。



また、児童生徒達は「東金市を日本で一番安全な街にする」「防災があたりまえになるように広めていく」という強い思いをもって活動しており、子ども達の想いで様々な企画を打ち出している。

-自立をめざして かがやく瞳 光る汗-



令和元年度魅力ある県立学校づくり大賞 応募概要（千葉県立東金特別支援学校）

1 目的

<オリ・パラ教育>

県教育委員会が示した4つのプロジェクトを基に、本校のこれまでの教育活動に柔軟に取り入れ、意味づけを行って活動を推進していく。また、障害者スポーツを通して地域に普及啓発を推進していくとともに、障害者理解を図っていく。

<防災教育>

防災教育を継続させ、児童生徒に根付かせ、自ら命を守る方法を知るだけでなく、それを地域などにも幅広く啓発する。

2 成果

<オリ・パラ教育>

本教育を通して、これまで行ってきた教育<例えば、国際理解教育やスポーツの価値等>をさらに意識して取り組むことができた。運動会を紹介した、東京2020大会組織委員会主催の「東京2020 みんなのスポーツフェスティバル」（オリ・パラに関連付けた運動会のコンテスト）では全国の応募の中から上位10校のうちの1校に選ばれ、優秀賞を獲得した。これは、東京2020大会組織委員会HPに掲載されている。

<防災教育>

長年に渡り、過去の災害教訓に基づく防災教育を推進している。被災地を訪問して、生徒が得た教訓を、児童生徒を通じて、学校だけでなく地域に還元する活動を続けている。

3 準備段階の工夫

<オリ・パラ教育>

児童生徒主体の「オリ・パラ」推進隊を発足させる。

校内はもとより、地域にオリンピック・パラリンピックや障害者スポーツを広め、現在ではボッチャDVDを作成し普及の一環として配布する予定である。

<防災教育>

児童生徒有志で「あたりまえ防災隊」を発足させる。

校内で行われる避難訓練の指導を生徒が主導するだけでなく、積極的に地域に向けた防災啓発活動を行う。オリジナルの防災ソングを作成し、これまでに防災啓発CD・DVDを配布したり、防災教育動画を動画投稿サイトに寄せたりと、防災意識を広めようと活動した。

4 実施段階の工夫

<オリ・パラ教育>

校内で「オリ・パラ」チャレンジ！（月2回の体験会）を通して児童生徒に広めたり、地域住民対象にした障害者スポーツ体験会「オリ・パラ」サマーセッション in 東金を計画したりして準備運営に取り組んだ。

<防災教育>

地域住民、大学、高校、子ども会、行政、医療機関とも連携し、「防災ウォークラリー」を展開した。「東金市青少年まちづくり活動」に企画応募し、採択を受けて行政と一緒に活動した。

5 広報活動とその効果

<オリ・パラ教育>

オリ・パラ通信を発行し、地域、関係機関に配布して取り組みを紹介するとともに、障害者理解につなげていくツールとして活用している。また、オリ・パラ教育の実践を随時学校 HP にアップし、情報発信に努めている。新潟県や静岡県等から視察が来るきっかけにつながっている。

<防災教育>

まちづくり活動も継続させていることで、地域で認知されるようになった。地域の防災訓練に呼ばれて一緒に参加したり、行政と協力して地域の防災イベントを企画・運営したりした。「防災まちづくり大賞総務大臣賞」「防災功労者内閣総理大臣表彰」を受賞した。

6 取組への反響

<オリ・パラ教育>

オリ・パラや障害者スポーツを児童生徒からなる「オリ・パラ」推進隊が地域の小・中学校に訪問し、出前授業を児童生徒主体で行っている。ポッチャの魅力やルール体験や交流を通して伝え、授業を受けた小中学生からは「体育で行いたい」「もっとやってみたい」など、多くの意見が寄せられた。

<防災教育>

地域の防災行事に参加することで、地域の方の目に触れる活動ができ、協力してくれる機関が増えた。児童生徒に言葉をかけてくれる地域の方が増えた。

7 今後の発展

<オリ・パラ教育>

これまでの取り組みが 2020 年で終わるのではなく、特に障害者スポーツを活用して地域とつながっていき、さらに広まっていけるように継続した取り組みをしていく予定である。

<防災教育>

これからも地域と連携した児童生徒主体の活動を続け、「東金市を日本で一番安全な街にする」「防災活動をすることをあたりまえにしたい」という生徒達の思いを引き継いでいきたい。